

利用・用途・応用分野

土木・建築分野、地盤や構造物、工事箇所等の補強・安定

目的・課題

グラウンドアンカー(以下、アンカー)は地盤や構造物等の補強、安定化を図る目的で土木建築分野で広く利用されているが、アンカーヘッド背面の真下は地下水の“みず道”となり、防錆材グリースが劣化しやすく、錆が発生しやすい。アンカーヘッドの背面領域を直接目視により観察し点検可能なアンカーヘッドを提供することを目的とする。

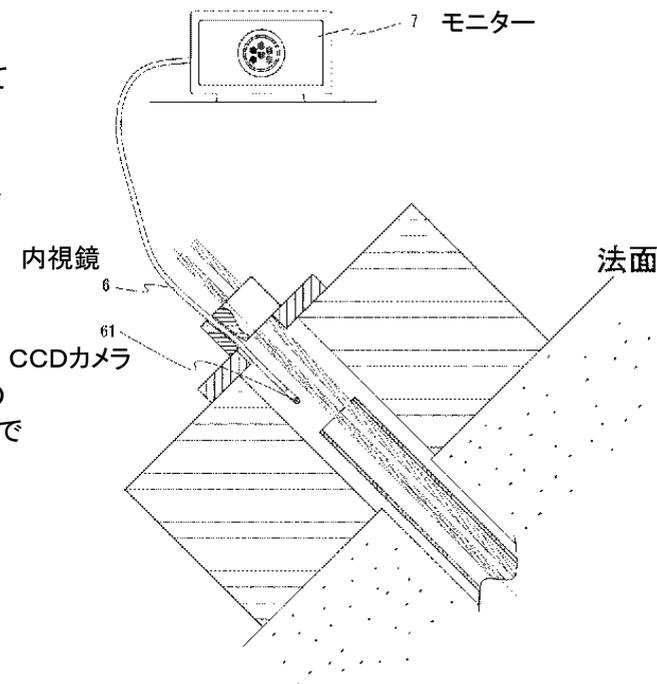
解決ポイント

本アンカーヘッドの特徴は、地中等に埋設した tendon の一端部を挿通させ、 tendon に緊張力を付与した状態で一端部を抜け止め係止する挿通孔と、アンカーヘッドの背面領域を目視観察により点検可能とする点検孔を備えており、アンカーを適切に維持管理することが可能であり、極めて実用性が高い。

研究概要・アピールポイント

本アンカーヘッドは、点検孔を利用してアンカーヘッドの背面領域を直接目視により観察し点検でき、点検孔を利用して劣化した防錆材グリースを排出し、新鮮な防錆材グリースを充填できる。アンカーヘッド背面領域におけるアンカーの劣化状況を適切に把握し、補修必要箇所を容易に確定でき、防錆材グリースを適切に補充してアンカーの長寿命化を図れ、法面等の安全管理を効率的かつ経済的な手法で行うことができる。

【アンカー点検システムの説明図】



◆ お問合せ先 ◆

有限会社山口ティー・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail:tlojim@yamaguchi-u.ac.jp